



平成22年9月30日

各 位

上場会社名 セイヒョー
 代表者 代表取締役社長 山本 勝
 (コード番号 2872)
 問合せ先責任者 管理部長 田辺 俊秋
 (TEL 025-386-9988)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年4月9日に公表した平成23年2月期第2四半期累計期間(平成22年3月1日～平成22年8月31日)の業績予想および平成23年2月期(平成22年3月1日～平成23年2月28日)の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年2月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年3月1日～平成22年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,574	122	129	77	18.05
今回発表予想(B)	2,110	△7	10	△90	△21.11
増減額(B-A)	△464	△129	△119	△167	
増減率(%)	△18.0	—	△92.2	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年2月期第2四半期)	2,649	93	107	68	16.17

平成23年2月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,203	32	45	26	6.09
今回発表予想(B)	3,750	△40	△15	△110	△25.80
増減額(B-A)	△453	△72	△60	△136	
増減率(%)	△10.8	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年2月期)	4,221	△5	12	8	2.08

修正の理由

第2四半期累計期間の業況におきましては、春先の天候不順の影響はあったものの、7月の梅雨明け前後からの猛暑の影響で、販売部門においては、自社ブランド品の氷菓・アイスを中心に、高い水準で推移いたしました。しかし、製造部門においては、アイスクリームのOEM製造の割合が非常に高い新潟工場で本年4月よりOEM受託先が変更となり、当四半期累計期間内において当初見込んでいたよりも受託数量が少量であったこと、また受託製造初年度のため、生産効率が大幅に低下した結果、全体では前回発表の売上高を著しく下回る見込みであります。

損益面につきましては、OEM受託の減収に加え、新潟工場においてロスが発生等、生産効率の大幅に低下したことにより営業損失となる見込みであります。経常利益についても同様の理由により前回発表の数値を大幅に下回る見込みであります。

四半期純利益につきましては、当期及び今後の業績を勘案し、当社の繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討いたしました結果、繰延税金資産を取崩し、法人税等調整額(税金費用)を計上することとしたため、前回予想を大幅に下回り四半期純損失となる見込みであります。

通期の業績については、当第2四半期累計期間において、前回予想数値との差異が生じたことに伴い、通期業績予想についても上記の通り業績予想を修正いたしました。

【業績予想に関する留意事項】

本資料に掲載されている業績予想等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上